

## 植物多様性センターの「ヒナワチガイソウ」

温室で栽培しているヒナワチガイソウに花が咲きました。ヒナワチガイソウはナデシコ科の多年草です。雑木林の林内に生育し、開放花による有性生殖と閉鎖花による無性生殖、塊根による無性生殖で繁殖します。日本固有種で都内では1カ所のみ自生が確認されており、東京都レッドデータブックでは絶滅危惧 I A類に指定されています。今年、学習園ではセンターで増やしたものを移植した株が芽を出しました。学習園の株が開花しましたらツイッターでお知らせいたします。



植物多様性センターの温室で開花した株。



開放花拡大：花弁は5枚。10個ある赤紫色の葯が目立つ。



学習園内で芽吹いた株。



自生地で大きく成長した株。  
(2020年3月撮影)